キャラクター名
エミリア＝エーベルヴァイン

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス エンジェルハィロゥ	ワークス	ヒーローB	カヴァー	熟練ヒーロー
オプショナル		年齢	23	性別	女
覚醒	命令	衝動	自傷	初期侵食率	31 %
出自	待ち望まれた子	経験	有名ヒーロー	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1		0			1
感覚	5	1	0	2	2	10
精神	1		0			1
社会	1		0		1	2

HP	23
行動値	19
(非装備時)	21
戦闘移動	26
全力移動	52

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	10		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：ヒーロー	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
必中の弓	射撃	10r+23		11		外れたら暴走
1237(100↓)	射撃	10r+23		40		外れたら暴走、ダメージ+1D。侵蝕11
1237(100↑)	射撃	10r+23		45		外れたら暴走、ダメージ+1D。侵蝕11
123457（100↑）	射撃	10r+23		77		外れたら暴走、ダメージ+1D。侵蝕19

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
シューターズジャケット		3	-1	-2	射撃判定ダイス+1

合計装甲：	3	合計回避：	-1

所持品	
ヒーローズクロス	
サイドリール	
パワーソース：サイエンス	
コネ：ヒーローマニア	
カテゴリ：ベテラン	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Ｄ：遺産継承者	P	N		
ｷｬﾌﾟﾃﾝ・ﾏｼｭﾘｶ（ｷﾘｴ・ﾛｼﾞｬｰｽ）	P 憧憬	N 隔意		
両親	P 慈愛	N 悔悟		
ノーブルナイト	P 友情	N 劣等感		
静揺妃姫	P 親近感	N 不安		
梅ケ谷恭一郎	P 尊敬	N 隔意		
	P	N		

最大財産P: 12	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセ：モル	2	2	Me					
効果： C-Lv								
ブルータルウェポン	3	4	Me白射	武器		対決		
効果： ATK+[Lv*3]。非暴走時判定ダイス-2								
小さな塵	5	2	Me射	武器		対決		
効果： ATK+[Lv*2]								
マスヴィジョン	3	4	MeSy			対決	100↑	
効果： ATK+[Lv*5]。シナリオ３								
クリスタライズ	3	4	MeSy			対決	100↑	
効果： ATK+[Lv*3]、装甲無視。シナリオ３								
レーザーファン	2	3	MeSY		範囲（選択）			
効果： エフェクトの範囲変更、同エンゲージに攻撃不可。シナリオLv								
オプティカルレンズ	2	3	Mi		自身	自動		
効果： Me間エンハイATK+[感覚]。シーンLv								
光芒の疾走	1	1	Mi	至近	自身	自動		
効果： 戦闘移動、シーンLv								
レスキューアクション	★		Me	至近	自身	自動		
効果： 登場と同時に人を助けることができる。								
天使の外套	★		Me	至近	自身	自動		
効果： 自身の外見を変化させる。								
効果：								
効果：								
効果：								

ローティーンにさえ見える少女。これでも成人している。
いつもおどおどしており、言動から自分への自信の無さがにじみ出ている。
それでもヒーローとして活動する間は胸を張ってヒーロー然としており、それが健気でよいとファンも多い。
自身の力や所有する槍を忌むべきものと考えており、槍を誰にも触らせないという変わったこだわりを持つ。

元”運命の七騎士”メンバー。クラスはランサー。当時１４才と最年少で”運命の七騎士”に就いた。
彼女の戦闘スタイルは、自身の持つ巨大な槍を遠隔操作・射出しての遠距離攻撃。
弓兵の適性が高かったが、得物が槍であることから槍兵の席に着いた。

彼女は聖槍”ロンギヌス”を所有する少女である。
”ヴィランズイヤー”と呼ばれるオーヴァード犯罪により世界が混沌に包まれた時代。
コードウェル博士の研究から自身の異能の正体を探り当てた研究者は、
不在となったコードウェル博士が保管していた槍の遺産”ロンギヌス”を窃盗し、レネゲイドウイルスに関して独自の研究を始めた。
幼子であったエミリアはヴィランに誘拐され、”ロンギヌス”に強制的に適合させる実験の実験体になった。
結果、幸いにもレネゲイドウイルス適合率の高かった彼女は”ロンギヌス”を使いこなすことに成功し、オーヴァードとして覚醒した。
研究者はもろ手を挙げて歓迎したが、それも長くは続かなかった。
ほどなく遺産をはじめとした研究成果の取り合い（実質的な殺し合い）が起きた。彼女はそれに巻き込まれたのだ。
”ロンギヌス”のおかげで逃げおおせることはできたが代償として両親を失い、その一件が彼女に深い傷を残すことになる。

その後、ヒーロー候補生として活動していたところをキャプテン・マシュリカに拾われて”運命の七騎士”に加入。
戦闘時は槍を遠隔操作により使用し、槍の射出による後方支援に徹していた。
解散後もひっそりとではあるがヒーロー活動を続けている。